

1. 集中工事とは

集中工事とは、道路を管理するために必要な工事を短期間に昼夜連続してまとめて行うものです。これにより工事の集約化が図れるため、年間の工事規制回数や工事に伴う渋滞発生時間を大幅に減らせます。東名高速道路では、1988年度に導入し、今回で27回目になります。

年間の工事規制回数の削減(試算)

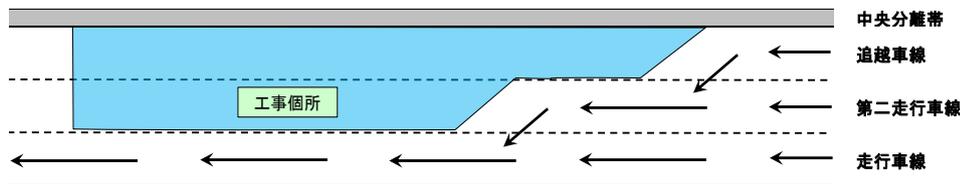


※「集中工事を実施した場合」に残る規制は、交通事故などで緊急に実施する工事や草刈りなどの道路維持作業のうち集中工事では実施できない想定規制回数です。

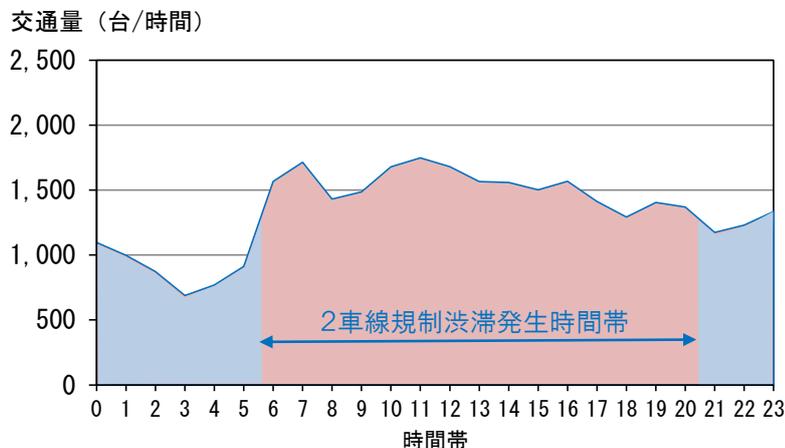
2. 片側3車線区間の2車線規制について

昨年度の集中工事では、御殿場IC付近で昼夜連続して2車線規制（片側3車線のうち2車線を規制する工事）を行ったことから、激しい渋滞が終日発生しました。今年の集中工事では、昨年度のような激しい渋滞を発生させないため、東京IC～御殿場JCTの2車線規制は、昼間の交通量の多い時間帯には行わず、交通量の比較的小さい夜間のみで行います。そのため、工事実施時間が減少することから、工事期間を3週間にしています。

(2車線規制の概念図)



(参考) 2車線規制による渋滞発生時間帯



2013年度集中工事期間中の2車線規制による渋滞発生時間帯
大井松田～御殿場（下り線）

3. 主な工事の内容

○舗装補修工事

舗装面の凹凸やひび割れなどを修復します。



○標識落下防止対策工事

道路上に設置された標識などが落下しないように落下防止対策を行います。



○はく落対策工事

老朽化したコンクリート片が落下しないように、はく落防止対策シートを設置します。



○防護柵改良工事

反対車線への飛び出しなどの重大事故の発生を防ぐため、強度を増したガードレールへの取替えを行います。



4. 道路交通情報の提供

(1) 工事規制情報のご案内

集中工事にあたり、テレビCM、ラジオCM、ポスター、インターネット、横断幕などによって、工事期間をはじめとする各種の情報を事前にお知らせします。また、工事期間中の渋滞状況など、お出かけ前や通行中に知りたい交通情報についても、ハイウェイテレホン、インターネットなどで提供いたします。詳しくは今後当社ホームページ (<http://www.c-nexco.co.jp/>)、リーフレットなどでお知らせします。

中日本高速道路株式会社では、情報板、ハイウェイラジオ、ハイウェイテレホンを使って渋滞情報や工事規制情報を提供させていただくとともに、規制標識や標識車を使って、工事規制箇所のお知らせや安全走行の注意を呼びかけています。これらの情報にご注意して、安全に走行してくださるようお願いいたします。

(2) お出かけ前に入手できる道路交通情報

①集中工事専用ホームページ

集中工事専用のホームページを開設し、工事の概要、所要時間予測、規制情報などをお知らせします。

②日本道路交通情報センターの道路交通情報

インターネット (<http://www.jartic.or.jp/>) や電話（電話番号は別紙をご覧ください。）で道路交通情報を入手できます。

③ i Highway 中日本（アイハイウェイ中日本）

全国の高速道路交通情報を携帯電話のウェブサイトを利用して、マップや文字でご確認いただけます。また、通行止めが発生又は解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。



<http://c-ihighway.jp/>



QRコード

④ハイウェイテレホン（電話番号は別紙をご覧ください。）

リアルタイムの主要道路の交通情報（5分更新）を24時間入手できます。携帯電話から「#8162」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手できます。

また、音声によるハイウェイテレホンとあわせて携帯電話のウェブサイトでご確認いただける、「目で見るハイウェイテレホン」もご活用ください。

なお、自動車走行中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際はサービスエリア（SA）・PAにてお願いします。

- ・ 関東・甲信越地方の高速道路情報

<http://www.yokohama1620-c-nexco.jp/main/index.shtml>



QRコード

- ・ 東海・北陸地方の高速道路情報

<http://www.highway-telephone.com/>



QRコード

(3) 走行中に入手できる道路交通情報

- ①道路情報板
- ②ハイウェイラジオ（1620kHz）
- ③VICIS（VICIS対応のカーナビゲーションなどで、道路交通情報が入手できます）

(4) 休憩中に入手できる道路交通情報

- ①ハイウェイ情報ターミナル（SAなどに設置）
テレビ画面で、分かりやすくお知らせします。
- ②iHighway 中日本（アイハイウェイ中日本）

全国の高速道路交通情報を携帯電話のウェブサイトを利用して、マップや文字でご確認いただけます。また、通行止めが発生又は解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。

なお、自動車走行中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際はSA・PAにてお願いします。



<http://c-ihighway.jp/>



QRコード

- ③ハイウェイテレホン（電話番号は別紙をご覧ください。）

リアルタイムの主要道路の交通情報（5分更新）を24時間入手できます。

携帯電話から「#8162」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手できます。

また、音声によるハイウェイテレホンとあわせて携帯電話のウェブサイトでご確認いただける、「目で見るハイウェイテレホン」もご活用ください。

なお、自動車走行中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際はSA・PAにてお願いします。

- ・ 関東・甲信越地方の高速道路情報

<http://www.yokohama1620-c-nexco.jp/main/index.shtml>



QRコード

- ・ 東海・北陸地方の高速道路情報

<http://www.highway-telephone.com/>



QRコード

- ④その他

SAなどのエリア・コンシェルジュでも交通情報をご案内いたします。

5. 安全対策および渋滞対策

中日本高速道路株式会社では、工事規制箇所・渋滞箇所での注意喚起、連続規制などを実施し集中工事期間中の交通事故防止に取り組んでいます。

また、極力渋滞を発生させないように規制する時間帯を厳選し工事を実施してまいります。

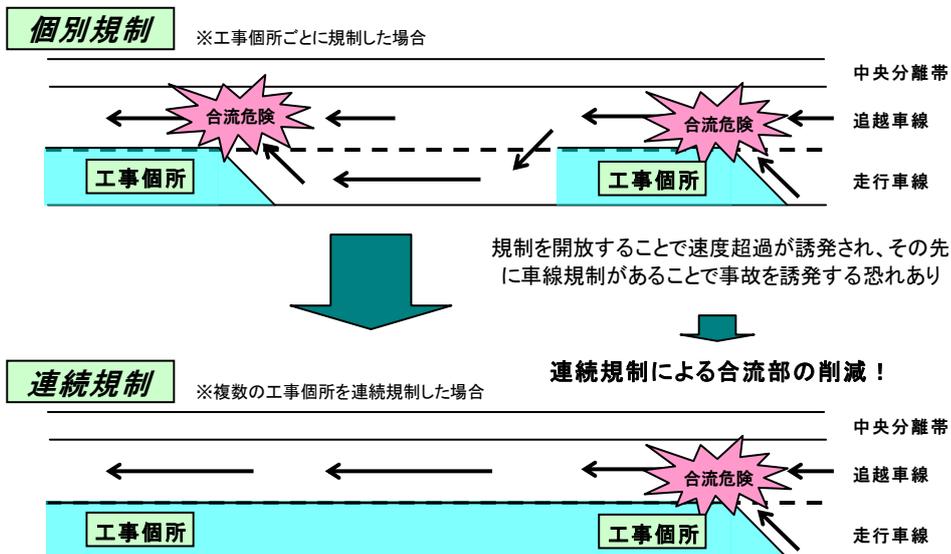
① 渋滞末尾での追突事故防止

渋滞末尾での追突事故を防ぐため、渋滞情報の提供や渋滞に応じて注意喚起の標識車を工事規制箇所の手前や渋滞末尾に配置し警戒にあたります。



② 連続規制の実施など

- ・ 緊急車や故障車の誘導、規制材の点検のため、保安員が常時巡回します。
- ・ 短い区間で工事規制を行うと合流箇所が増え、追突事故の要因となります。そのため、工事を行っていない箇所でも、安全のため連続して規制を行っています。



- ・ 連続車線規制内のお知らせ看板の例



◎ゆとりをもったご利用を

工事期間中は、高速道路や周辺の一般国道などが大変混雑すると予想され、所要時間も通常より多くかかるおそれがあります。ゆとりをもった旅行計画をお立て下さい。

◎ 渋滞末尾での追突事故にご注意を

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞末尾での追突事故のおそれがあります。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図するなどして、追突事故の防止に心掛けて下さい。



◎ 全席シートベルトの着用を

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する場合があります。

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ず全席シートベルトの着用をお願いします。（平成20年6月1日より道路交通法が改正され、後部座席のシートベルトの着用が義務付けられました。）



道路交通情報のお問い合わせ先

(1) ハイウェイテレホン (5分ごとに最新の情報を24時間案内)

携帯電話からは「#8162 [はい、無事(帰る)]」におかけいただくと、最も近い地域の最新の高速道路状況を自動音声で提供します。

固定電話からは「#8162」をご利用いただけません。固定電話からは、以下のハイウェイテレホンをご利用ください。

東名高速道路情報	東京局	03 (5491) 1620
	川崎局	044 (866) 1620
	横浜局	045 (923) 1620
	御殿場局	0550 (82) 1620
	富士局	0545 (51) 1620
	静岡局	054 (288) 1620
	浜松局	053 (435) 1620
中部地区情報	豊川局	0533 (82) 1620
	名古屋局	052 (709) 1620

(2) 日本道路交通情報センター

インターネット

<http://www.jartic.or.jp/>

24時間・5分更新で道路交通情報を提供

日本道路交通情報センターの道路交通情報

電話番号 全国統一番号 050-3369-6666※

※全国どこからでも、最寄の情報センターに接続します。(自動車電話、携帯電話などの移動体通信からは利用できません)

携帯短縮ダイヤル「#8011」

以上